

調査件名 ○○土質試験

地点番号(地盤高) B-1 (A. P. +2. 50m)

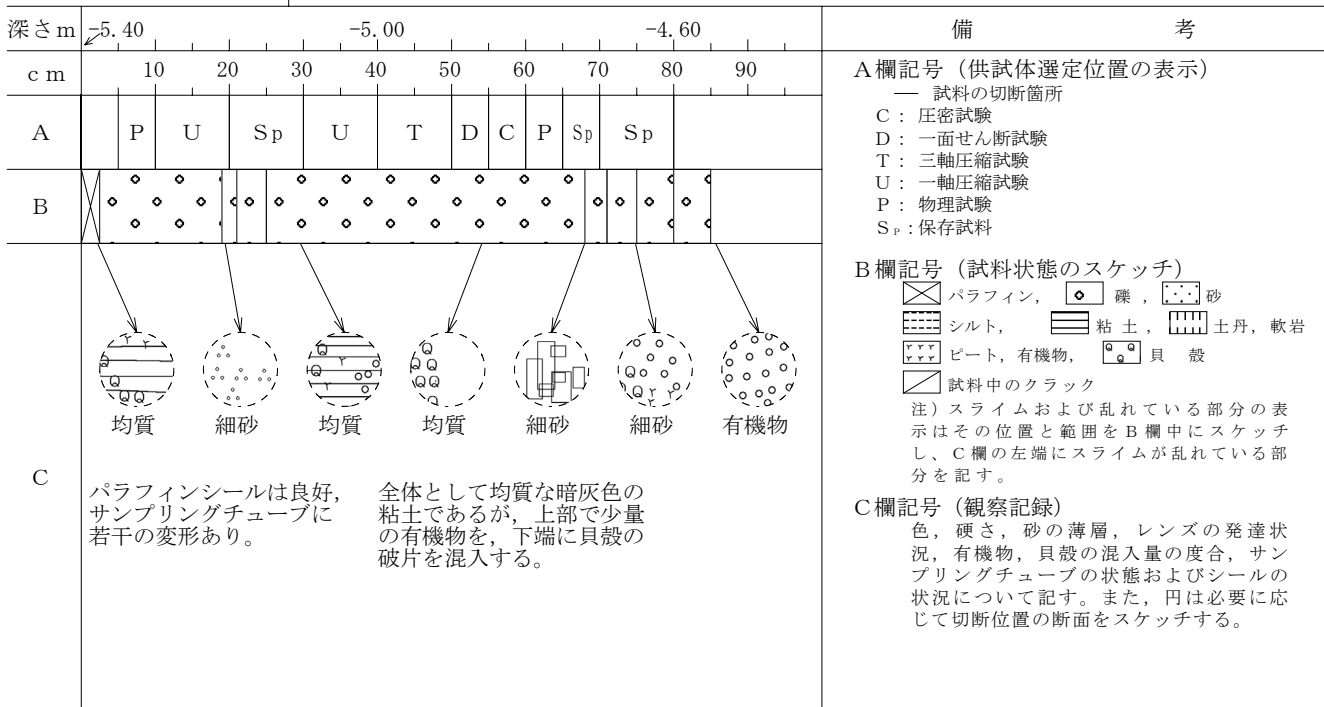
試料番号(深さ) T-2(-4. 60~-5. 40m)

I. 現場記録

採取年月日	平成 年 月 日	担当者	大浜 次郎			
ボーリングの方法	ハンドフィード式(ハイドロリックフィード式, オーガーボーリング, その他):					
掘削流体の種類						
サンプリングの方法	固定ピストン(エキステンションロッド式, 水圧式), ロータリー式二重管, ロータリー式三重管, ロータリー式スリーブ内蔵, その他:					
サンプリング	長さ mm	100	外径 mm	78	内径 mm	75
	肉厚 mm	1.5	刃先肉厚 mm	0.2	刃先角度 度	6
	内径比 %	0	材質	ステンレススチール	断面積比%,内径差	8
サンプラー	サンプラー押込み長さ H cm	80	試料採取長 L cm	80	採取率 L/H %	100
	サンプリングの状況 <sup>1)</sup>	チェーンブロックによる押込み				
シールの方法	パラフィン, 松やに	刃先部シール厚さ cm	2.5	上部シール厚さ cm	4	
	サンプリングにおける異常の記載 <sup>2)</sup>	貝殻片多く, 臭気あり硬い貝殻片(カキ貝)にあたり, 刃先が若干変形する				
凍結処理の記録	凍結前質量 g		凍結後質量 g			
	排水量 ml		膨張量 mm			
土質名称	粘土		現場での保管方法	スポンジマットに包み, 作業小屋で保管		
試料の輸送方法	梱包: (有)無 輸送(乗用車, トラック便(借上, 混載), 航空便, 船便, 人力)					

II. 室内記録

試料到着年月日	平成 年 月 日	担当者	野比 三雄
試料押出し年月日	平成 年 月 日	試料押出し方法	縦型, 横型 刃先方向, 頭部方向
室内での保管方法	恒温・恒湿の試料保管棚に水平にして保管		



特記事項

特記事項の1行目  
 特記事項の2行目  
 特記事項の3行目  
 特記事項の4行目

- 1) サンプラーの押込み方法, 押込み荷重, ロッドの回転数, 泥水の濃度, 送水量などについて記載する。
- 2) ボーリング機械の浮き上がり, 刃先の変形, 引上げ時の試料の脱落, その他の異常について記載する。